



令和4年度 西五百川小学校だより

ポ プ ラ

第7号 令和4年11月11日

校長 鈴木正直

夢は きっと叶う！



夢を持ち続ける限り
努力し続ける限り
夢は遠くない！！



10月21日（金）に世界で活躍している「ヴァイオリニストの竜馬さん」と「キーボード奏者の真島聡史さん」の演奏会が体育館で行われました。ヴァイオリンの音色にひき込まれるとともに、夢や目標を持つことの大切さを教えてもらいました。竜馬さんは「夢は一人では叶えられないものです。叶えるという漢字は口に十と書きます。ですから叶えるには、口に出してたくさんの人に伝えることが大切です。そうすれば、自分の夢を応援してくれる人が増え、夢の実現につながっていきます。」と語ってくれました。竜馬さんは、小学校5年生でプロのヴァイオリンになり

たいという夢を持ち、努力し多くの方々に支えられながら、困難を乗り越えて、今日があるとのこと。また、当日はテレビと新聞の取材も入りました。なんとその中に、西小の卒業生がテレビカメラマンとして活躍していました。YTSテレビの長岡広明さんです。長岡さんも「ぼくも小学校の時にテレビカメラマンになりたいという夢を志しました。強い思いを持ち続ければきっと夢は叶います。これから楽しみながら頑張ってください。」とメッセージを送ってくださいました。夢は、きっと叶う！

竜馬さんとヴァイオリンに魅了されて！

小春日和の中、ふるさとの山は秋色に染まってきました。木々や葉っぱの形は、一つとして同じ形や同じ色はありません。みんな違います。ですから、紅葉はきれいなのです。

私たち人間も、一人一人がそれぞれの姿形を持っており、それぞれの色を持っています。それを、個性といいます。だから、学校も世の中も、楽しいのです。楽器もまた同じです。ヴァイオリンも一つとして同じものはありません。そのヴァイオリンに、竜馬さんという人間の魂で弾き込み音を奏でていきます。その音は、ま



るで生き物のように躍動し、音にも表情があることがわかりました。優しさと力強さと、なんて美しい音色なのでしょう。ヴァイオリンと竜馬さんの魅力にぐんぐん引き込まれていきました。「音楽っていいなあ。」「音の響きって美しいなあ。」と心から感じることができました。音は、奏でる人の心が表現されると言われます。私たちの声も、言葉もそうです。心のこもった声や言葉や音の違いを、私たちは知っています。

これからも私たちは、心を響かせ合って「桜のようにやさしく、虹のようにかしこく、若鮎のようにたくましく」いろいろなところにその音色を届けていきましょう。

1年 たかやま つかさ

みんなでバイオリンをきいて、すごくかっこよくて、ほくもなってみたいです。あとバイオリンがあんなおとがするとおもっていませんでした。バイオリンがきけてよかったです。

2年 阿部美晃

りょうまさんは「耳をすませば」などをひいてくれました。私
が知っていた曲もありました。りょうまさんが作った曲が「雫」
「しゅりのうた」などでした。ヴァイオリンは一つでいろいろな
音が出るのがすごいと思いました。「雫」の曲のときに雫ち
ゃんの前に行ってえんそうをしてくれたのがおもしろかったで
す。雫って名前がすてきなと感じました。うごきがうた
にあって上手だなとおもいました。わたしが一番うれしかった
のがこうかをひいてくれた時です。わたしたちがうたっている
こうかをえんそうしてくれるなんてすごいとおもいました。
「やっぱりフ口ってうまいな」とおもいました。りょうまさんは、
やさしいこともいってくれました。わたしもピアノをならっていた
ので、まじまさんみたいになりたいです。本当にすばらしい
えんそうかいでした。

10月21日が誕生日の竜馬さんへ、子ども達からハッピー
バースデーソングのプレゼントをしました。突然の
ことに、竜馬さんはとても感激し喜んでくれました。



* 緊張しながら、インタビューに答える子ども達



* YTSカメラマン長岡広明さんと「ゴジダス」の菅原アナウンサー

にこにこ班で 芋煮会

5月に植えた「つるり里芋」は、みんなで水かけをがんばったおかげで大きく実りました。この里芋をヴァイオリン演奏会の後に、にこにこ班で竜馬さんと真島さんとスタッフの皆さんと一緒に芋煮を作って食べました。役割を分担し、協力しながら料理し、とってもおいしい芋煮ができあがりしました。最後に、カレーうどんにしました。すべての鍋をぺろりとたいらげ、お腹いっぱい。ああ～おいしかった！！ごちそうさまでした。竜馬さんたちも、初めての芋煮作りを体験できて大喜びでした。



りんごに学ぶ



3・4年生は、春から「おいしいりんごができるまで」を布施哲也さん（沼の平）から楽しく学んでいます。今回は、りんごの実が赤くきれいに色づくための工夫として「葉っぱ摘み」と「玉回し」を体験しました。

誇れる伝統文化の継承 私たちも!



5・6年生は「西五百川の歴史」を学んでいます。今年、「ハツ沼の獅子踊り」と「常盤の田植え踊り」についての由来を勉強し、ビデオを見ながら自分達で踊り方を研究してきました。その成果を学習発表会で披露します。ハツ沼獅子踊りは阿部富士男さんから、常盤田植え踊りは海藤功さん、阿部健一さん、佐竹義則さん、鈴木友雄さんから、踊り方や衣装の着付けを教えてもらいました。本物の衣装を身にまとうと、魂が入ったのか一段と立派な踊りになりました。指導の皆様からもお褒めの言葉をいただき、子ども達は自信を持ってたようです。12日の本番が楽しみです。



校内陸上記録会 ～ 記録より大切なこと

自分で決めた目標タイムの突破をめざして、一人一人が真剣に、全力でゴールを駆け抜けました。がんばろうとする気持ちが、表情に、走る姿に表れていました。実に、清々しく、感動的でした。自己ベスト更新という自分自身への挑戦と、ライバルとの競い合いによって、ぐんとたくましく成長したようです。そして、友だちを応援する声「がんばれ!」が絶え間なく、グラウンドにこだましていました。すばらしかったです。自分の目標達成への努力と、友達の目標達成への協力を惜しまない、西小の子ども達の強さと温かさに心を打たれました。記録や数字は、具体的な目標や成果として大切です。しかし、それ以上に大切なのは、目標に向かってどんな気持ちでどう動いたか、そして結果をどう受け止め、何を感じ、これからどう生きるかが一番大切です。どんな結果になろうとも、がんばったみなさんの姿が、私たちの誇りです。

応援に駆けつけてくださった保護者やご家族のみなさん、地域の方々の子も達を讃える拍手と笑顔にも、改めて子ども達は地域の宝であり、希望であることを感じました。



第2回 学校運営協議会

10月14日「西小の不易と流行」をテーマとして熟議が開催されました。時代が変わっても、これまでずっと大事に引き継がれてきた西小文化とは何か。そして、時代の変化に応じた新たな取り組みとは、どのようなものが考えられるかなどについて、活発に話し合われました。今後とも、地域と共にある学校づくりを推進してまいります。